

経営情報学会 PACIS2018 主催記念特別全国研究発表大会

『IT。社会の敵か味方か？』

2018 年 6 月 28 日(木)・29 日(金)

TKP ガーデンシティ PREMIUM 横浜ランドマークタワー

- (1) 大会会場へのアクセス
- (2) 大会会場マップ
- (3) 大会プログラム
- (4) PACIS2018 キーノートスピーチを聴講される方へ (学会員限定)

(1) 大会会場へのアクセス

会場：TKP ガーデンシティ PREMIUM 横浜ランドマークタワー

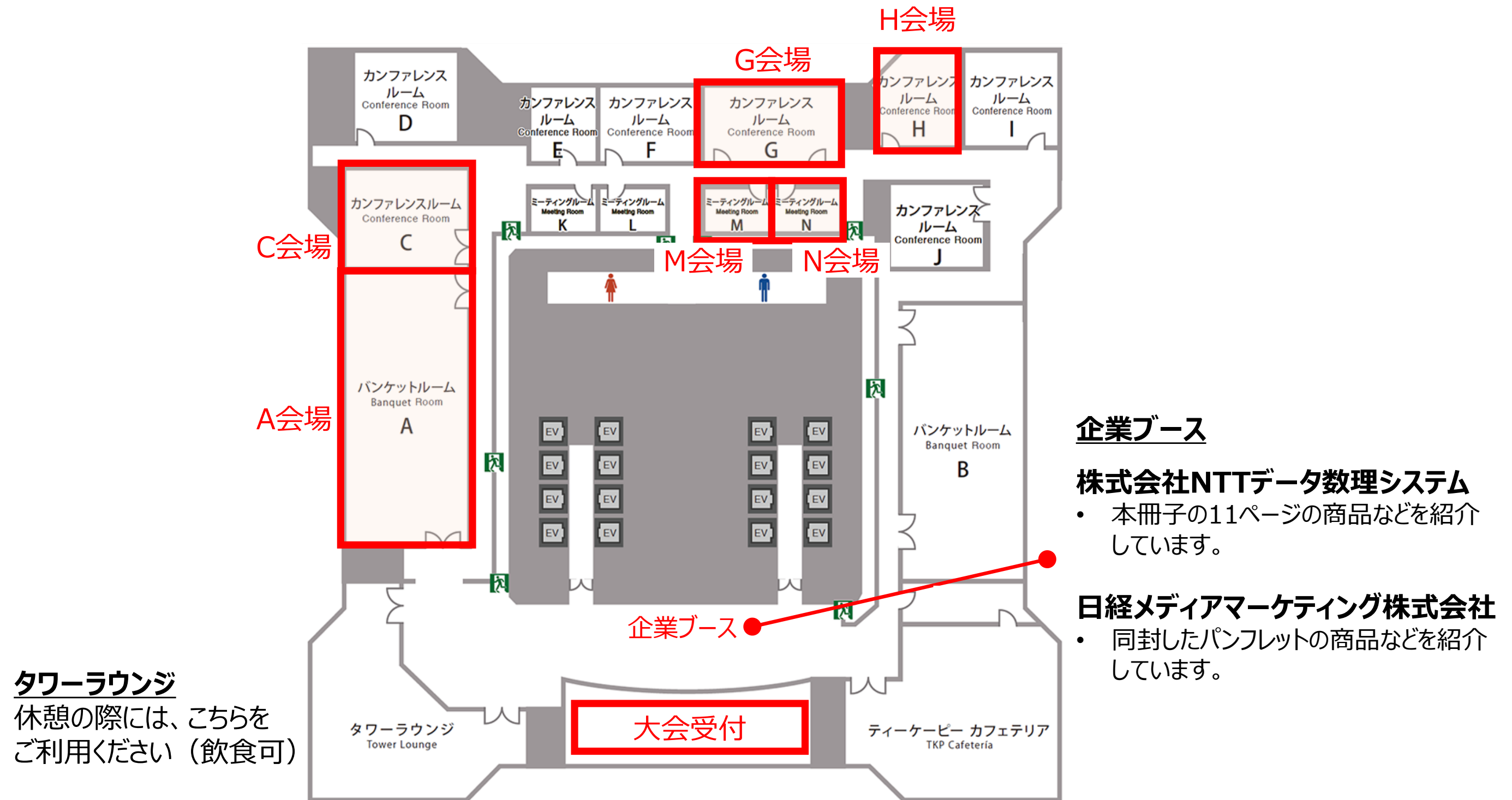
(〒220-8125 神奈川県横浜市西区みなとみらい2丁目2番1号 横浜ランドマークタワー25F)



みなとみらい線 みなとみらい駅 ランドマークタワー・クイーンズスクエア方面改札徒歩 5 分

JR・市営地下鉄 桜木町駅から動く歩道で徒歩 5 分

(2) 会場マップ



(注意) 同じフロアの他の部屋では、PACIS2018 (国際会議) のセッションが開催されていますが、そちらを聴講するためには、別途、PACIS2018 (国際会議) への参加申込みが必要です。

(3) 大会プログラム

【6 月 28 日(木)】 AM

全国研究発表大会					PACIS2018 (経営情報学会会員限定の特典)	
会場	-	-	-	-	会場	横浜ロイヤルパークホテル 宴会棟 大宴会場「鳳翔」
セッション名	-	-	-	-	セッション名	キーノートスピーチ 1
	-	-	-	-	09:30-10:30	野中 郁次郎 氏 (一橋大学 名誉教授) * 日本語による講演です (英語同時通訳)。 * 経営情報学会会員のみ参加できます。
会場	A 会場	C 会場	G 会場	H 会場	会場	横浜ロイヤルパークホテル 宴会棟 大宴会場「鳳翔」
セッション名	ポスターセッション	IT-CMF 研究会	ICT と教育研究部会	東海支部	セッション名	キーノートスピーチ 2
座長		近野 章二(東京工業大学)	後藤 裕介(岩手県立大学)	田中 宏和(静岡大学)		
11:00-11:30	次ページを参照してください。	講演番号:1C-1 / 受付番号:PR0041 IT-CMF と関連アセスメント ・近野 章二(東京工業大学) ・飯島 淳一(東京工業大学) ・明神 知(北海道情報大学) ・藤波 務(北陸先端科学技術大学院大学)	講演番号:1G-1 / 受付番号:PR0014 グループ分け反転授業の実授業への適用について ・梅澤 克之(湘南工科大学) ・石田 崇(高崎経済大学) ・中澤 真(会津大学) ・平澤 茂一(早稲田大学)	講演番号:1H-1 / 受付番号:PR0027 イノベーションの諸問題を語り合うワークショップ ・田中 宏和(静岡大学) ・増田 靖(光産業創成大学院大学) ・永吉 実武(静岡大学)	11:00-12:30	土井 三浩 氏 (日産自動車株式会社 総合研究所 所長 アライアンス グローバル ディレクター(理事)) * 英語による講演です。 * 経営情報学会会員のみ参加できます。
11:30-12:00		* 本研究部会セッションでは、幅広い聴講者の参加を希望しています。特に、組織における IT 実践活用力評価にご関心のある方は、ぜひお越しください。	講演番号:1G-2 / 受付番号:PR0023 C 言語プログラミング教育における学習状況の分析 ・石田 崇(高崎経済大学) ・梅澤 克之(湘南工科大学) ・齋藤 友彦(湘南工科大学) ・中澤 真(会津大学) ・平澤 茂一(早稲田大学)	* 本研究部会セッションでは、幅広い聴講者の参加を希望しています。特に、イノベーションにご関心のある方は、ぜひお越しください。		
12:00-12:30			講演番号:1G-3 / 受付番号:PR0033 粒度の高いコンテキストウェアな学習履歴を組み合わせた学習者分析 ・中澤 真(会津大学) ・梅澤 克之(湘南工科大学) ・平澤 茂一(早稲田大学)			
12:30-13:00	-		講演番号:1G-4 / 受付番号:PR0029 高校生を対象としたプログラミング学習時の脳波履歴の収集とその分析 ・齋藤 友彦(湘南工科大学) ・梅澤 克之(湘南工科大学) ・石田 崇(高崎経済大学) ・中澤 真(会津大学) ・平澤 茂一(早稲田大学) * 本研究部会セッションでは、幅広い聴講者の参加を希望しています。ICT と教育にご関心のある方は、ぜひお越しください。			

【6 月 28 日(木)】 AM

ポスターセッション

会場	A 会場
セッション名	ポスターセッション
審査員	歌代 豊(明治大学), 加藤 尚子(東京通信大学), 木野 泰伸(筑波大学)
11:00-12:30	講演番号:P-1 / 受付番号:PR0013 プロスペクト理論に基づき過去の消費量と周囲の消費量を考慮した消費関数の導出 ・風間 恵実(千葉工業大学) ・喜多村 正仁(千葉工業大学) 講演番号:P-2 / 受付番号:PR0015 製菓産業における IT 投資の総要素生産性と労働生産性に与える影響の研究 ・三宅 講太郎(東京大学) ・須藤 修(東京大学) 講演番号:P-3 / 受付番号:PR0018 給食残菜の可視化と今後へのアプローチ ・大場 春佳(静岡理科大学) ・石塚 浩司(袋井市教育委員会) ・西田 芳(袋井市教育委員会) ・大石 隆之(袋井市役所) ・水野 信也(静岡理科大学) 講演番号:P-4 / 受付番号:PR0019 社会基盤施設のアセットマネジメントにおけるコミュニケーションのあり方 ・前田 典昭(山口大学) ・河村 圭(山口大学) 講演番号:P-5 / 受付番号:PR0020 高級焼肉店における顧客の購買データ解析に関する研究 ・辛 郷孝(慶應義塾大学) ・菅 愛子(慶應義塾大学) ・山下 泰央(慶應義塾大学) ・高橋 大志(慶應義塾大学) 講演番号:P-6 / 受付番号:PR0021 購買履歴に基づく顧客ロイヤルティの強さと変化傾向の評価指標の提案 ・佐々木 誠治(岩手県立大学) ・茂木 雅祥(大東文化大学) ・高島 悠佑(岩手県立大学) ・白井 康之(大東文化大学) ・後藤 祐介(岩手県立大学) 講演番号:P-7 / 受付番号:PR0024 タイムスタンプとアイトラッキングを活用した動画コンテンツの有効利用と配信基盤の構築 ・海野 萌(静岡理科大学) ・大場 春佳(静岡理科大学) ・水野 信也(静岡理科大学) 講演番号:P-8 / 受付番号:PR0025 深層学習によるニュースと株式市場の関連性の分析:高頻度データ および LSTM によるニュース分類 ・高山 理璃子(慶應義塾大学) ・菅 愛子(慶應義塾大学) ・高橋 大志(慶應義塾大学)

【6月28日(木)】PM

全国研究発表大会					PACIS2018 (経営情報学会会員限定の特典)
13:00-14:30	昼休み				
会場	A 会場				
14:30-15:00	開会式 ・大会委員長挨拶 佐藤 亮(横浜国立大学) ・学会長挨拶 木嶋 恭一(大東文化大学) 表彰式				
会場	A 会場				
15:00-16:00	学会賞講演 ソーシャル・イノベーションをもたらす ICT の役割 ―ビジネスプロセス視点による比較事例分析― (経営情報学会誌, Vol.25, No.4, pp.271-292, March 2017) 小川 哲司(静岡大学), 遊橋 裕泰(静岡大学), 西垣 正勝(静岡大学)				
会場	A 会場	C 会場	M 会場	N 会場	
セッション名	イノベーション(1)	社会連携型 PBL 研究部会	経営戦略(1)	データマイニング・ビッグデータ	
座長	増田 靖(光産業創成大学院大学)	春木 良且(フェリス女学院大学)	喜多村 正仁(千葉工業大学)	高橋 大志(慶應義塾大学)	
16:30-17:00	講演番号: 1A-5 / 受付番号: PR0003 IoT とビッグデータの意味 ・佐藤 亮(横浜国立大学)	講演番号: 1C-5 / 受付番号: PR0040 社会連携での学びの実態と展望 ・春木 良且(フェリス女学院大学) ・松尾 尚(産業能率大学) ・伊藤 大貴(Million dots) ・関 治之(Georepublic Japan) ・田中 弥生(東京大学大学院) ・尾澤 知典(慶應義塾大学) * 本研究部会セッションでは、幅広い聴講者の参加を希望しています。特に、社会連携に関心のある企業の方など、ぜひお越しください。	講演番号: 1K-5 / 受付番号: PR0028 大手飲食店舗における非正規従業員の満足度要因に関する調査研究 ・松木 知徳(芝浦工業大学) ・中村 潤(芝浦工業大学)	講演番号: 1L-5 / 受付番号: PR0022 人工データによる 2 値判別器を用いた多値分類システムの評価 ・平澤 茂一(早稲田大学) ・雲居 玄道(早稲田大学) ・小林 学(早稲田大学) ・後藤 正幸(早稲田大学) ・稲積 宏誠(青山学院大学)	
17:00-17:30	講演番号: 1A-6 / 受付番号: PR0004 基本的に物理産業のデジタル化への取組み ・高橋 浩(北陸先端科学技術大学院大学)		講演番号: 1K-6 / 受付番号: PR0030 組織的成熟度の観点からの ICT 利活用の評価 ・工藤 周平(石巻専修大学)	講演番号: 1L-6 / 受付番号: PR0035 ETC2.0 プローブデータを活用したドライバーの危険運転度スコアリング・システムの提案 ・松下 穂高(中日本高速道路) ・林 高樹(慶應義塾大学)	
17:30-18:00	-		-	-	

【委員会】

広報委員会: 6/28 (木) 15:00-16:00 C 会場

【6月29日(金)】AM

全国研究発表大会					PACIS2018 (経営情報学会会員限定の特典)	
会場	-	-	-	-	会場	横浜ロイヤルパークホテル 宴会棟 大宴会場「鳳翔」
セッション名	-	-	-	-	セッション名	キーノートスピーチ 3
	-	-	-	-	09:30-10:30	木川 真 氏 (ヤマトホールディングス株式会社 代表取締役会長) * 日本語による講演 (英語同時通訳)です。 * 経営情報学会会員のみ参加できます
会場	A 会場	C 会場	M 会場			
セッション名	企業事例セッション	イノベーション(2)	マーケティング			
座長	後藤 裕介(岩手県立大学)	釜池 聡太(トレンドマイクロ株式会社)	齊藤 史哲(千葉工業大学)			
11:00-11:30	講演番号:2A-1 / 受付番号:PR0007 画像分類における新しい半教師あり学習 ・貝塚 洋(新日鉄住金ソリューションズ) ・向 正道(新日鉄住金ソリューションズ)	講演番号:2C-1 / 受付番号:PR0006 アップルの破壊的イノベーションに関する考察 ・雨宮 寛二(中曽根康弘世界平和研究所)	講演番号:2K-1 / 受付番号:PR0005 Web 広告による誘引と自発的な Web 検索との間の購買行動の差異 ・加藤 拓巳(本田技研工業, 筑波大学)) ・津田 和彦(筑波大学)	-		
11:30-12:00	講演番号:2A-2 / 受付番号:PR0032 テキストマイニング技術とそのビジネス適用への道 ・尾崎 博子(NTT データ数理システム) ・岩本 圭介(NTT データ数理システム)	講演番号:2C-2 / 受付番号:PR0009 新技術開発プロセスにおける情報価値の変容 ・宮本 淳子(常葉大学) ・増田 靖(光産業創成大学院大学)	講演番号:2K-2 / 受付番号:PR0037 調査実験における視線追跡機能付き VR の利用可能性に関する研究 ・石橋 健(関西大学)	-		
12:00-12:30		講演番号:2C-3 / 受付番号:PR0016 ブロックチェーンの採用が株価へ与える影響に関する実証分析 ・渡邊 真治(大阪府立大学)	講演番号:2K-3 / 受付番号:PR0039 視線追跡データを用いた消費者の店舗内購買行動の分析 ・金子 雄太(関西大学) ・石橋 健(関西大学) ・矢田 勝俊(関西大学)	-		

【6月29日(金)】PM

全国研究発表大会					PACIS2018 (経営情報学会会員限定の特典)
12:30-14:00	昼休み				
会場	A 会場	C 会場	M 会場		
セッション名	経営戦略(2)	情報化社会・企業評価	情報システム・人材		
座長	宮元 万菜美(情報通信総合研究所)	渡邊 真治(大阪府立大学)	多井 剛(流通科学大学)		
14:00-14:30	講演番号:2A-4 / 受付番号:PR0002 ソフトウェア製品における派生種のチキンエッグ問題の考察 ・加藤 和彦(名古屋商科大学)	講演番号:2C-4 / 受付番号:PR0026 不祥事企業 CM の有名人に対する人々の反応から見える社会的文脈の特徴 ・内木 哲也(埼玉大学) ・王 璐(埼玉大学)	講演番号:2K-4 / 受付番号:PR0011 ビジネスコンピューティング再考 ・小松 昭英(ものづくりAPS 推進機構)	-	
14:30-15:00	講演番号:2A-5 / 受付番号:PR0008 デジタル変革のバリューガバナンス ・淀川 高喜(産業技術大学院大学)	講演番号:2C-5 / 受付番号:PR0034 自治体におけるオープンデータ担当部署の決定過程 ・本田 正美(東京工業大学) ・梶川 裕矢(東京工業大学)	講演番号:2K-5 / 受付番号:PR0036 次世代経営人材育成の現状と課題に関する一考察 ・大嶋 淳俊(いわき明星大学, 立教大学)	-	
15:00-15:30	講演番号:2A-6 / 受付番号:PR0010 バイモーダル IT からペースレイヤーアプローチへ ・宗平 順己(Kyoto ビジネスデザインラボ)	講演番号:2C-7 / 受付番号:PR0031 就労者のエンゲージメントに関連する要因についての予備的分析 ・宮崎 亜紀子(FiNC) ・村上 真(FiNC) ・鈴木 陽介(FiNC) ・岩本 隆(慶應義塾大学)	講演番号:2K-6 / 受付番号:PR0038 地域活性化のための産学連携による観光促進の挑戦 ・大嶋 淳俊(いわき明星大学, 立教大学, 昭和女子大学)	-	
15:30-16:00	-	* 講演番号: 2C-6 は発表キャンセルとなりました。	講演番号:2K-7/ 受付番号:PR0001 我が国主要野菜の農産物生産経営 ・稲垣 伸子(NPO 法人農都会議)	-	
会場	A 会場				
16:05-16:20	企業事例セッションの表彰 前回開催校への感謝状贈呈 次回開催校紹介				
会場	A 会場				
16:30-18:00	総会				

(4) PACIS2018 キーノートスピーチを聴講される方へ（学会員限定）

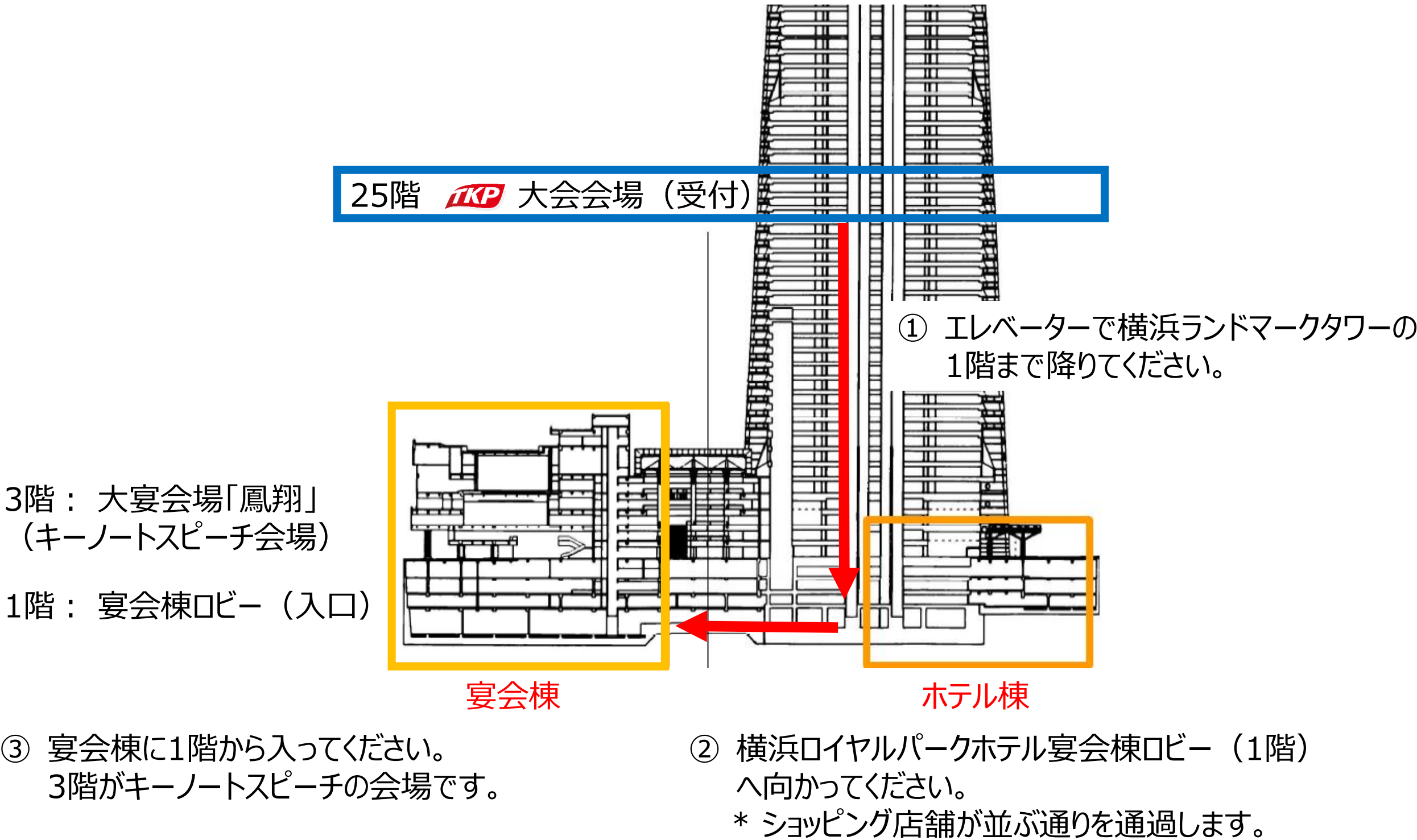
本大会に参加される学会員の皆様は、以下の PACIS2018 のキーノートスピーチを無料で聴講できます。

- 6 月 28 日（木）9:30-10:30 横浜ロイヤルパークホテル 宴会棟 大宴会場「鳳翔」
野中 郁次郎 氏（一橋大学 名誉教授）
* 日本語による講演です（英語同時通訳）。
- 6 月 28 日（木）11:00-12:30 横浜ロイヤルパークホテル 宴会棟 大宴会場「鳳翔」
土井 三浩 氏（日産自動車株式会社 総合研究所所長、アライアンス グローバル ディレクター(理事)）
* 英語による講演です。
- 6 月 29 日（金）9:30-10:30 横浜ロイヤルパークホテル 宴会棟 大宴会場「鳳翔」
木川 眞 氏（ヤマトホールディングス株式会社 代表取締役会長）
* 日本語による講演です（英語同時通訳）。

キーノートスピーチの聴講の流れ

1. 「経営情報学会 PACIS2018 主催記念特別全国研究発表大会」で参加の受付をして下さい。
受付場所：大会会場（TKP ガーデンシティ PREMIUM 横浜ランドマークタワー：横浜ランドマークタワー25F）
受付開始時間：9:05（6/28、6/29 の両日とも）
* 事前申込・当日申込のいずれでも、必ず参加の受付をしてください。参加証（ネームカード）をお渡しします。
* 9:00 前は会場が開いていない可能性がございますのでご注意ください。
2. キーノートスピーチ会場へ移動してください（約 3 分）。
キーノート会場：横浜ロイヤルパークホテル 宴会棟 大宴会場「鳳翔」
* キーノートスピーチ会場へアクセスについては次ページを参照下さい。
3. 「経営情報学会 PACIS2018 主催記念特別全国研究発表大会」の参加証（ネームカード）が見えるようにしてキーノートスピーチ会場へお入りください。
キーノートスピーチをお楽しみください。

キーノートスピーチ会場へのアクセス



案内スタッフが立っておりますので、お気軽にお尋ねください。

数理システムの データサイエンス

洗練と進化のアナリティクス環境をサポート。「問題解決」のために「意思決定」「合理的判断」を実現。

「新たな価値を創造する」お手伝いをいたします。

全製品無料体験セミナー毎月開催! <http://www.msi.co.jp/event/>



**数理システムのご提供する
意思決定の課題と技術。**

現状把握 × **ビッグデータ
予測** **マイニング**

分析、予測の重要性が高まる一方、データはますます大規模化しています。高度な分析、予測技術を誰の手にも。

計画立案 × **数理計画
行動策定** **シミュレーション**

本当に現場で使える計画を自動作成！シミュレーションによる事前の検証で安心・安全な計画作成を支援。

検証実施 × **統計解析**

キャンペーン効果分析から故障予測、臨床統計まで、客観的な根拠で幅広い意思決定の支援環境をご提供。

情報共有化 × **レポート
クラウド**

分析結果の共有化をタイムリーかつ、簡単に！クラウド化による、環境に依存しないソリューションをご提供。

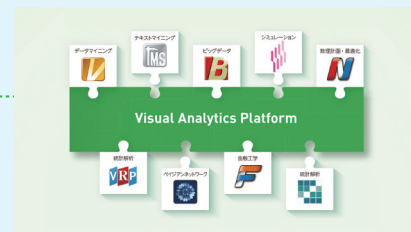
さらにパワーアップする製品ラインナップ

データ分析プラットフォーム

Visual Analytics Platform

データ分析から最適化、シミュレーションまでシームレスな連係を実現。分析のピースが新たな価値を紡ぎだす。

Visual Analytics Platformは、NTTデータ数理システムの分析ツールをシームレスに連係するプラットフォームです。各種分析ツールの機能をアイコンとして画面上に配置し、矢印でつなぐだけで、一連の分析を行うことができます。多彩な機能を自由に組み合わせて分析の幅を広げることで、データから新たな価値を引き出します。



ソリューションを実現するNTTデータ数理システムのソフトウェア

汎用データマイニングツール

Visual Mining Studio

POS を初めとした販売データ、顧客データ、製造や工程に関連したデータ等、膨大なデータの中から、多様な情報を発掘するためのデータマイニングソフトウェアが Visual Mining Studio です。

【主な用途】●マーケティング：バスケット分析、顧客分析 ●品質管理：製造履歴データからの不良工程の発見、歩留まり向上 ●その他、金融（与信審査）、医療、ゲノム解析など

テキストマイニングツール

Text Mining Studio

蓄積されている貴重なテキスト（文章）データを分析、活用、意外な分析結果の可視化まで、簡単なマウス操作で実現。データマイニングともシームレスに連結、それが Text Mining Studio です。

【主な用途】●お客様の声の分析（アンケート・コールセンターメモ・掲示板・ブログ）●技術情報の分析（論文・特許情報）●不具合情報管理（日報・クレーム情報・問題点抽出）●新聞・記事情報・書籍分析 ●医療情報分析（電子カルテ・インタビュー内容）等

簡単操作で R の機能をフル活用!

Visual R Platform

データ解析と
グラフィックスのための

S-PLUS

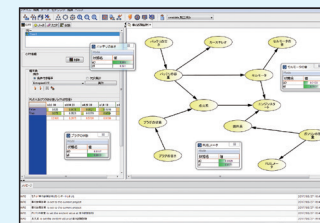
VRP/S-PLUSは、NTTデータ数理システムが提供する統計解析ソフトウェアです。VRPiは、Rをエンジンとし、分析フローをアイコンで構築可能、Rスクリプトの出力も可能です。S-PLUSは、世界中で長年の実績を誇り、美しいグラフと網羅性の高い統計手法を搭載しています。

【主な用途】●毎日変動する金融マーケット、販売／営業データ、製造データなどの監視／分析システム ●時系列解析を利用した需要などの将来予測システム ●医薬、金融、品質管理などに使われる高度な統計解析システム

ページアンネットワーク構築支援システム

BayoLink

現象の因果関係を明らかに!!
故障診断、医療診断、マーケティング等多数の事例があります。
モデル構築から理論まで、直感的な操作で結果を出します。



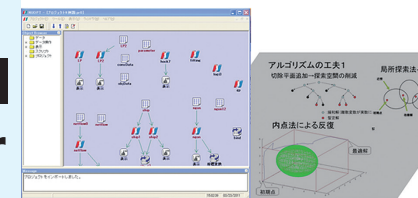
新機能!!
データマイニング
との連携が
可能に

汎用最適化ツール

Numerical Optimizer

Numerical Optimizer は、実務に必要な答えを出すための数理計算パッケージです。
組み合わせやトレードオフに関する情報において最適解を提示し、あなたの意思決定を支援します。

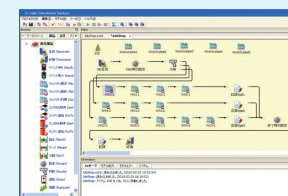
【主な用途】●広告最適化 ●金融ポートフォリオ ●プラント運転計画最適化 ●シフトスケジュール ●工場の生産計画、配送問題、配車計画 ●パラメータ合わせこみ ●信用リスク管理 ●通信ネットワーク最適化



S⁴ Simulation System

S4(エス・クワトロ)Simulation System は誰でも簡単に複雑なモデルを GUI 上で表現し、シミュレーションを行える汎用シミュレーションシステムです。離散イベントシミュレーション、連続型シミュレーション(システムダイナミクス)、エージェントシミュレーションやそれらのハイブリッドシミュレーションが可能です。

【主な用途】●工場などの生産システム、通信システム、コールセンターなどでの人やモノ、情報の流れ●交通流や道路・店舗・施設での人流シミュレーション

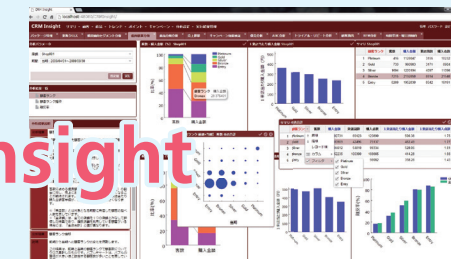


CRM 分析システム

CRM Insight

ブラウザで手軽に ID-POS 分析可能な CRM Insight。
POS データや会員データをサーバー上に置いておき、クライアント側ではブラウザを起動するだけで利用できます。

【主な用途】●POS データや会員データからお客様の傾向や製品の性質を把握。●売上の傾向や動きを簡易に可視化、施策に活用。●併売や好みの類似からレコメンド方針の決定に。



注目のビッグデータ分析ツール

Big Data Module

WEB アクセスログ、プローブデータ、取引データなど、ギガバイトを超えるデータセットの出現に、深く、素早く対応できるビッグデータ分析ツールです。

VAP上の
ビッグデータ
処理を実現!!

スケーラブルなマイニング
アルゴリズムによるデータ分析

マルチコア対応
サンプリング
クリーニング
スカッシング
etc.

整形データ

Visual Mining Studioと
連携可能

NTT Data

株式会社NTTデータ 数理システム

NTT Data

〒160-0016 東京都新宿区信濃町35 信濃町煉瓦館1F

株式会社NTTデータ 数理システム Tel.(03)3358-6681 Fax.(03)3358-1727 <http://www.msi.co.jp/>

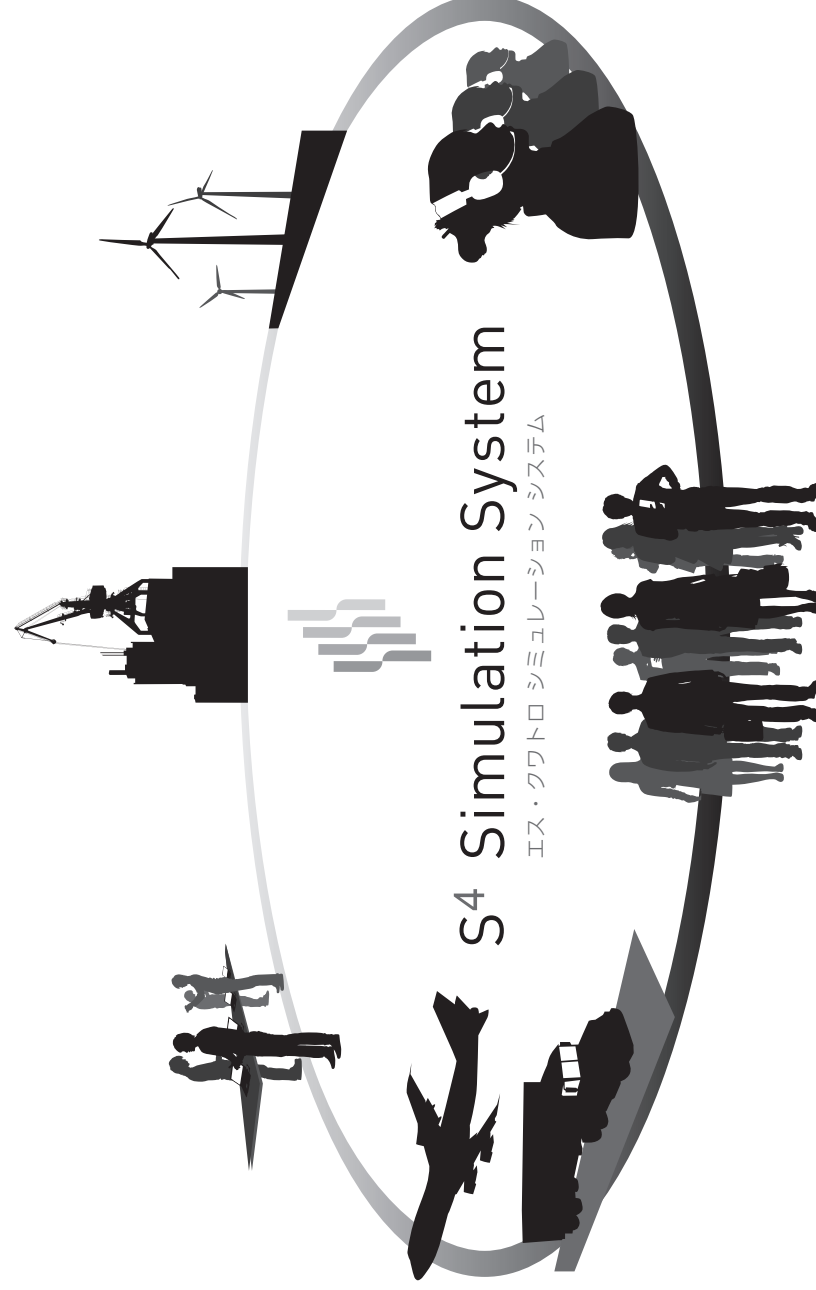
製品に関するお問合せ sales@msi.co.jp

日本発！汎用シミュレーションシステム

低コスト・短時間で、リスクを軽減

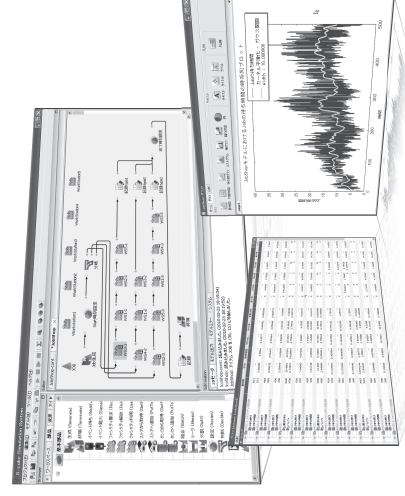
プロジェクトを成功へ導く、万全の事前検討のために

離散イベントシミュレーション／連続型シミュレーション(システムダイナミクス)／エージェントシミュレーション



S⁴ Simulation Systemは、GUI上に部品を配置し、それらをつないでいくという簡単な操作で、離散イベントシミュレーションを行う事が出来るツールです。また、連続型シミュレーション(システムダイナミクス)やエージェントシミュレーション、それらのハイブリッドモデルもGUIでモデリング・分析が可能です。作成されたモデルは、Pythonベースのシミュレーション記述言語psim言語に変換されて実行されます。今までのシミュレーション言語では難しかった複雑な待ち受け表現や状態遷移を、柔軟かつ簡潔に記述できるという特徴を持っており、必要に応じて、手軽にスク립ティングを行ったり、モデル記述に無限の可能性を与える事ができます。

問題解決手法には、数理計画、データマイニング、統計分析など様々な手法が存在しますが、それぞれの手法には長所・短所があります。確率的な離散事象を使ったモデリングを行う事で、他手法ではモデリングが困難であるような問題を分析したり、あるいは、今までとは違った角度から分析する事も可能となります。



What's New

ソーシャルフォースモデリング機能に、地図エディタを組み込み、歩行者シミュレーションがより手軽になりました。

サポート

自社開発製品なので迅速且つきめ細やかなサポートをご提供いたします。

また、お客様の目的に合わせたカスタマイズや周辺ソフトウェアの開発にも積極的に対応いたします。

株式会社NTTデータ 数理システム

〒160-0016 東京都新宿区信濃町 35 番地 信濃町煉瓦館 1 階

TEL : 03-3358-6681 FAX : 03-3358-1727

無料紹介セミナー実施中！

詳しくは HP から <http://www.msi.co.jp/s4/>

ご質問・お問い合わせは e-mail : s4-info@msi.co.jp

2013年9月に株式会社数理システムより社名変更・移転を行いました。30年間培ったノウハウを活かし、従来と変わらぬ技術とサービスを皆様にご提供してまいります。



モバイル空間統計

☎03-6205-7470

営業時間：平日 AM9:30～PM6:00

✉CONTACT

mobaku-m@dcn-im.com

いつどんな人が どこからどこへ

日本全国、24時間365日の最新データが手に入ります。

モバイル空間統計でわかること



人口密度



移動・滞在



居住エリア



性別・年代



国別

活用事例

#01

＜人口密度分析＞

＜人口移動分析＞

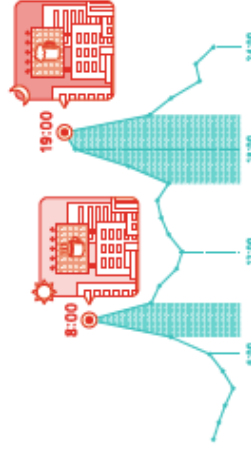
Marketing Strategies

マーケティング戦略

戦略

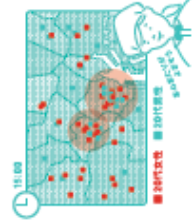
さらなる発展には客観的なデータ分析がカギ

これまで定量的に把握することが難しかった1時間ごとの人口増減を属性別に分析することで、より効果的なマーケティングを実現します。



プロモーション

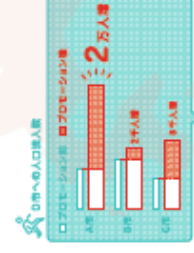
プロモーションは、特定のエリアに滞在している人の数を確認することで、そのエリアの人口密度を把握することができます。



出店計画

出店計画は、特定のエリアに滞在している人の数を確認することで、そのエリアの人口密度を把握することができます。

出店計画は、特定のエリアに滞在している人の数を確認することで、そのエリアの人口密度を把握することができます。



地方創生

地方創生は、特定のエリアに滞在している人の数を確認することで、そのエリアの人口密度を把握することができます。

地方創生は、特定のエリアに滞在している人の数を確認することで、そのエリアの人口密度を把握することができます。

地方創生は、特定のエリアに滞在している人の数を確認することで、そのエリアの人口密度を把握することができます。

#02 / Strengthening The Tourism

観光の
チカラで地域
経済活性化

地域の観光資源を調査し、重点ポイントを開発することで、地域の特徴を活かした観光の発展と効果検証が可能です。



防災計画

防災計画は、特定のエリアに滞在している人の数を確認することで、そのエリアの人口密度を把握することができます。

防災計画は、特定のエリアに滞在している人の数を確認することで、そのエリアの人口密度を把握することができます。



交通計画

交通計画は、特定のエリアに滞在している人の数を確認することで、そのエリアの人口密度を把握することができます。

交通計画は、特定のエリアに滞在している人の数を確認することで、そのエリアの人口密度を把握することができます。

#03 / City Planning

持続可能なまちづくりのヒントに

人口密度や滞在傾向を継続的に把握し、予測を立てることで、災害に強いまちづくりや、交通インフラの整備が可能です。